

ビデオ会議で安全パト

本社と施工現場を接続

大成ロテック

大成ロテックの西田義則社長（写真右奥）は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い行動制限が求められている状況の下、ビデオ会議アプリを使って、本社と施工現場を接続し、在宅勤務中の役員も自宅からア

全国10支社の主要工事現場の社長安全パトロールを実施した。

においても、事故・災害を防ぐ目的での安全パトロールを蔑ろにするわけにはいかず、ありとあらゆる手段を講じて現場支援に努めなければならぬ」と述べた。

西田社長は、「我々道路建設業は、社会インフラ整備という公共性の高い事業を担っており、十分な予防対策を講じた上で事業を継続させなければならぬ。支社幹部職員の行動制限がある中

高速道路修繕工事のパトロールでは、路面切削作業時における重機と人との分離状況、工事車両の規制帯内への出入りおよび誘導員の配置状況などを確認・点検した。

